

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	岡谷市育英基金奨学金事業	コード	4107
-------	--------------	-----	------

2 担当部課	部等 教育部	課等 教育総務課	作成者 小口 明彦
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち		
		政 策	学校教育の推進	施 策	学校教育の推進
		予算科目	奨学金貸付金／預金利子支払	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	地方自治法第241条、岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	高校、大学等に就学する生徒及び学生に対し、資金の貸付を行う。		
目的	対象者	生徒及び学生	
	意 図	経済的理由により就学が困難な学生を支援し、優秀な人材を育成する。	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容																										
<p>岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例に基づき、育英資金の貸付及び償還事務等を行った。</p> <p>・平成元年度新規貸付決定者 大学・短大 7名、専門学校 0名、高校 0名、医学部 1名 計8名 審査会1回開催</p> <p><育英基金の内容等：貸付金額（最長償還期間）></p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校生</td> <td>月額30,000円（120ヶ月）</td> <td>高等専門学校生</td> <td>月額30,000円（180ヶ月）</td> </tr> <tr> <td>大学生</td> <td>月額52,000円（180ヶ月）</td> <td>短期大学生</td> <td>月額52,000円（180ヶ月）</td> </tr> <tr> <td>専修学校生（高等課程）</td> <td>月額30,000円（120ヶ月）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>専修学校生（専門課程）</td> <td>月額49,000円（168ヶ月）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※新たに入学準備金及び医師を養成する課程（学校）への貸付を創設し、23年度貸付から対象とした。</p> <table border="0"> <tr> <td>入学準備金</td> <td>医師を養成する課程</td> <td>1,200,000円（72ヶ月）、その他</td> <td>200,000円（48ヶ月）</td> </tr> <tr> <td>貸付金</td> <td>医師を養成する課程</td> <td colspan="2">月額200,000円（270ヶ月）</td> </tr> </table>				高等学校生	月額30,000円（120ヶ月）	高等専門学校生	月額30,000円（180ヶ月）	大学生	月額52,000円（180ヶ月）	短期大学生	月額52,000円（180ヶ月）	専修学校生（高等課程）	月額30,000円（120ヶ月）			専修学校生（専門課程）	月額49,000円（168ヶ月）			入学準備金	医師を養成する課程	1,200,000円（72ヶ月）、その他	200,000円（48ヶ月）	貸付金	医師を養成する課程	月額200,000円（270ヶ月）	
高等学校生	月額30,000円（120ヶ月）	高等専門学校生	月額30,000円（180ヶ月）																								
大学生	月額52,000円（180ヶ月）	短期大学生	月額52,000円（180ヶ月）																								
専修学校生（高等課程）	月額30,000円（120ヶ月）																										
専修学校生（専門課程）	月額49,000円（168ヶ月）																										
入学準備金	医師を養成する課程	1,200,000円（72ヶ月）、その他	200,000円（48ヶ月）																								
貸付金	医師を養成する課程	月額200,000円（270ヶ月）																									
前年度の課題への対応	償還金の滞納整理を行い、未収金の削減に努めた。																										

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	奨学生専攻委員会の開催回数			単位	回
実績値	1	1	1		
*指標の説明	奨学生の選考委員会審査会を開催する回数				
② 成果指標（指標名）	貸付者			単位	人
目標値	11	11	11	11	
実績値	13	10	8		
達成度	118.2%	90.9%	72.7%		
*指標の説明	育成資金の新たな貸付決定者				
*目標値の設定方法の説明	H28から一般会計からの繰入金が減額となったため医師養成を含め11人以内を採用枠とした。				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用 (人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位: 円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	44,440,000	36,752,000	33,906,000	36,776,000
経常経費	44,440,000	36,752,000	33,906,000	36,776,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	1,280,000	1,280,000	1,280,000	1,280,000
正規職員の人数(人)	0.16	0.16	0.16	0.16
③ 合計コスト(①+②)	45,720,000	38,032,000	35,186,000	38,056,000
前年度比		83.2%	92.5%	108.2%
財源				
一般財源	32,720,000	25,032,000	22,186,000	28,056,000
内訳				
特定財源	13,000,000	13,000,000	13,000,000	10,000,000
* 特定財源の説明	※令和2年度 10,000千円に減額			
④ 活動一単位あたりコスト	45,720,000	38,032,000	35,186,000	
前年度比		83.2%	92.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位: 件、円、%]

補助金負担金名	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額 0	0	0	0
	割合 0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 80.0%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 72.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) ・ 減免制度導入に伴い、基金の原資が減少している。	
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 一般会計からの繰入金の継続と、償還金の滞納整理を強化する。	
改善方法		
改善開始時期	令和2年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---